

■第 27 回歴史地震研究会（東京大会）のお知らせ（第 4 報）

歴史地震研究会では、9月10日（金）～12日（日）に日本地震学会・関東大震災資料調査会のご後援を頂き、東京大学地震研究所と共催で下記の研究発表会・シンポジウムならびに東京都復興記念館見学会を行います。研究発表会・シンポジウム・懇親会・東京都復興記念館見学会への事前参加申し込みは受け付けを終了致しました。当日参加申し込みは会場にて受付致します（ただし、非会員の方の東京都復興記念館見学会への当日参加申し込みは受付しておりません。悪しからずご了承ください）。

(1) 会場： 東京大学地震研究所

(東京メトロ南北線「東大前」駅下車徒歩5分)

研究発表会・シンポジウム・総会 1号館3階セミナー室A・B

懇親会 1号館7階ラウンジ

(2) プログラム：

9月10日（金）：

9：30～ 受付開始 研究発表会・シンポジウム参加費（含予稿集代）：

歴史地震研究会会員 1,000 円，非会員 2,000 円（学生は無料）

開催挨拶及び諸連絡（10：10～10：20）

I 災害対応（10：20～11：00）（*は発表者，以下同）（座長：林能成）

1. *木村玲欧・宮村攝三（故人）

埋もれていた被災者実態調査 ～宮村攝三が行った「1948 福井地震通信調査」

2. 中西一郎

1923 年関東地震直後の京都帝国大学の活動：京都大学に残る記録

11：00～11：20 休憩

II 地震・火山カタログ（11：20～12：00）（座長：石辺岳男）

3. *石橋克彦・古代中世地震史料研究会

[古代・中世] 地震・噴火史料データベース

4. 秋教昇・朴昌業・*都司嘉宣

白頭山の歴史時代の火山活動

12：00～13：30 昼休憩

シンポジウム：「描かれた江戸，撮られた東京」（13：30～17：00）

司会 武村雅之（小堀鐸二研究所副所長）

13：30～13：35 開会挨拶

平田直（東京大学地震研究所所長）

13：35～14：20 「描かれた江戸のイメージ」

小澤 弘（江戸東京博物館都市歴史研究室長・教授）

14：20－15：05 「撮された占領下の東京」

佐藤洋一（早稲田大学教授）

15：05－15：15 休憩

15：15－16：00 「変わらぬ江戸・変わる東京」

北原糸子（立命館大学教授）

16：00－16：10 休憩

16：10－16：55 質問・討論

16：55－17：00 閉会挨拶

佐竹健治（東京大学地震研究所副所長）

17：15－19：15 懇親会（於：東京大学地震研究所1号館7階ラウンジ）

参加費：4,000円（学生は2,000円）

9月11日（土）：

III 南海トラフの地震（9：30－10：30）（座長：藤原治）

5. 羽鳥徳太郎

四国西部・九州東部沿岸における宝永（1707）、安政（1854）南海津波の波高増幅度

6. *宍倉正展・行谷佑一

足摺岬における宝永・安政・昭和南海地震の地殻変動

7. *松浦律子・中村操・唐鎌郁夫

1707年宝永地震の新地震像（速報）

10：30－10：50 休憩

IV 近世の地震（10：50－11：50）（座長：白石睦弥）

8. *都司嘉宣・松岡祐也

安政南海地震（1854）による土佐国の死者分布

9. 西山昭仁

文禄五年（1596）伏見地震における京都盆地での被害状況

10. 松浦律子

1861年文久宮城の地震の震源域再々考

11：50－13：30 昼休憩

V ポスター発表（13：30－14：30）

11. *松浦律子・岩佐幸治・出町知嗣・古村美津子・関根真弓・鈴木保典・中村操

1833年出羽沖地震の震源域について

12. *石井寿・中村亮一・植竹富一・宇佐美龍夫・渡邊健

天保四年（1833年）山形沖地震津波の調査

13. *白石睦弥・檜垣大助・古澤和之

1793 寛政西津軽地震に関する一考察（その1）

14. *都司嘉宣・松岡祐也

安政江戸地震（1855）による江戸市中の町別死者数

15. *金幸隆・吾妻崇

六日町断層の分布とその活動履歴

16. *今井健太郎・西山昭仁・前田拓人・石辺岳男・佐竹健治・古村孝志

史料に基づく1707年宝永地震の発震時刻に関する統計的解釈

17. *井若和久・上月康則・山中亮一・村上仁士

徳島県美波町における1946年昭和南海地震津波での避難行動について

18. 武村雅之

関東大震災による寺院移転：「得生院誌」をめぐって

19. *古川信雄・Phyo Maung Maung

プレート境界である、ミャンマーのサガン断層近傍のM7クラス歴史地震（1918年以降）の震源再決定によるサガン断層の地震履歴

VI 越後・佐渡の地震（14：30－15：50）（座長：佐竹健治）

20. 石橋克彦

1670年寛文越後地震の震源域

21. *南雲秀樹・菅原正晴・中村亮一・植竹富一

震度データと上下動地殻変動データに基づく享和2年（1802年）佐渡小木地震の断層モデルの推定

22. *都司嘉宣・西山昭仁

寛延四年（1751）越後高田地震および文政十一年（1828）越後三条地震の村落別死者数

23. 河内一男

1828年三条地震の震央は平野中央部であったか

15：50－16：10 休憩

VII 天然ダムと堆積物（16：10－17：30）（座長：小松原琢）

24. 早川由紀夫

信濃北部地震と平安砂層

25. 井上公夫

長野県中・北部で形成された巨大天然ダムの事例紹介－八ヶ岳大月川岩層なだれと姫川・岩戸山の大規模地すべり－

26. *藤原治・平川一臣・入月俊明・長谷川四郎・鎌滝孝信・原口強・内田淳一・阿部恒平

千葉県館山市の海浜堆積物に見られる9世紀以降の津波（？）イベント堆積物

27. *島崎邦彦・金幸隆・千葉崇・石辺岳男・松岡裕美・岡村眞・都司嘉宣・佐竹健治

三浦半島における関東地震起源の津波堆積物の認定と歴史地震

17：45－18：45 歴史地震研究会総会

9月12日（日）：

VIII 東北の地震（9：30－10：50）（座長：西山昭仁）

28. 松岡祐也

『日本三代実録』仁和三年五月廿日条の地震記述について－出羽国府周辺で起きた自然災害の検討－

29. 檜垣大助・*白石睦弥・古澤和之

1793 寛政西津軽地震に関する一考察（その2）

30. 白石睦弥

『金木屋日記』に見る幕末の災害情報

31. *神田克久・武村雅之

震度インバージョン解析を用いた1900年前後の地震の震源位置と地震規模の評価

10：50－11：10 休憩

IX 関東の地震（11：10－12：10）（座長：松岡祐也）

32. *中村操・松浦律子

1855年安政江戸地震の被害と震源

33. *石辺岳男・西山昭仁・佐竹健治・島崎邦彦

1885年以降の「M7級首都直下地震」の類型化（序報）

34. 武村雅之

東京の街に残る関東大震災の跡

東京都復興記念館見学会（14：00に各自で現地へ集合）

場所：東京都墨田区横網2-3-25 横網町公園内

最寄り駅：都営地下鉄大江戸線「両国」駅（E12）下車徒歩7分

（東京大学地震研究所から東京都復興記念館までの所要時間約40分）

(3) 発表者の皆様へ

・口頭発表の皆様へ

1講演あたりの発表時間は質疑応答を含めて20分です。1鈴を15分、2鈴を18分、3鈴を20分に鳴らします。2鈴で発表者は講演を終了して下さい。また、会場には発表用にWindowsノートPCを1台設置致しますので、必要な方はご使用下さい。ご持参のPCをご使用される方は、事前に接続確認を行い、会の円滑な進行にご協力頂きますようお願い致します。

・ポスター発表の皆様へ

ポスターボードのサイズは 120 cm（横）×175（縦）cmとなっております。ポス

ター発表は研究発表会 2 日目に予定されておりますが、掲示は大会期間を通じて可能です。

(4) 問い合わせ先

歴史地震研究会 行事委員会：

佐竹健治（委員長）・西山昭仁・石辺岳男

電子メールの場合：rekishi2010@eri.u-tokyo.ac.jp

手紙・FAX の場合：

〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学地震研究所 地震火山情報センター

歴史地震研究会 行事委員会 西山昭仁・石辺岳男

FAX 番号 03-3814-5507

※注意事項：歴史地震研究会では宿泊予約を取り扱いません。会場周辺には食堂などが多数あるため、昼食予約は取りません。悪しからずご了承ください。また、お車でのご来場はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。